

つなぐ映画 『蔵のある街』に協力しました

■つなぐ映画 『蔵のある街』ストーリー（公式HP より）

岡山県倉敷市に住む高校生3人、蒼（あおい）、祈一（きいち）、紅子（べにこ）。ある日、蒼と祈一は紅子の兄で自閉症のきょうくんを落ち着かせるため、とっさに「倉敷美観地区の鶴形山から打ち上げ花火を上げる」と約束をするが、紅子は「口先だけのできない約束では兄を傷つける」と怒り涙をこぼす。

ショックを受けた蒼と祈一は約束を果たそうと行動を起こす。その矢先、美術館の学芸員の「美観地区の花火は綺麗だろうね」という言葉に、蒼と祈一は協力を求めるが「本気の賛同者を100人集めて」と条件を出される。

小さな約束が若者の本気を引き出し、その姿が大人を動かし、街のみんなに広がればこの花火はただの花火ではなくなるのだが…。



■倉敷支援学校ではエキストラさんに配付する記念品の作成に取り組みました

映画は7月後半頃から撮影予定です。撮影に参加するエキストラさんに配付する記念品（倉敷と花火をモチーフにした手ぬぐい）の着色を、行いました。その数100枚！ 余暇活動や高等部の作業学習などの時間に全校の児童生徒で取り組み、期日までに納品しました。映画は来春公開予定です。岡山県ゆかりのMEGUMIさん、前野朋哉さんなどが出演予定です。クレジットタイトルには「協力 倉敷市立倉敷支援学校」の文字が入る予定です。ご興味のある方はぜひご覧ください。

